

#### 参加申込方法について

- 下記のURLのフォームよりお申し込みください。(〆切は5月24日(月)です)

[https://idmt2.hitachi.co.jp/20210531-HAS\\_45.html](https://idmt2.hitachi.co.jp/20210531-HAS_45.html)

- 参加費は無料です。
- 参加申込みについてのお問合せは、下記メールアドレスまでお願いいたします。

E-mail [ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp](mailto:ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp)

※お申込みは先着順です。参加者数上限(200名予定)を超過した場合、お断りさせていただく場合がございますので、ご了承ください。

※お申込みは参加者ご本人様にておこなっていただきたくお願いいたします。

## HAS研 第45回研究会 プログラム

(Hitachiアカデミックシステム研究会)

テーマ: 『社会のデジタル化』

開催日時. 2021年5月31日(月) 13:30~16:50

開催方法. オンラインセミナー形式(Zoomウェビナー)

<接続方法は、会期近くに別途メールにてご案内申し上げます>

## 1. 第45回研究会 『社会のデジタル化』

13:30~16:50

## ■ 開会挨拶 13:30~13:40

Hitachiアカデミックシステム研究会 会長 外岡 秀行 (茨城大学 教授)

## ■ 講演1 13:40~14:30

## 「New Normal 時代のDX推進と政策展開」

経済産業省 商務情報政策局

アーキテクチャ戦略企画室長

和泉 憲明



既存のITシステムが足かせとなり、多くの企業は競争力を失ってしまう一経産省が2018年に発表した「DXレポート」。発表から2年経った昨年、新型コロナウイルスという不幸な脅威の結果として、企業は期せずして大きな変化への対応を求められており、レポート中で指摘された「2025年の崖」問題に多くの経営層が直面しています。

その中で、各社がスピード感を持って危機を打開するためのアクションとそれを支える政策の方向性について、経産省では昨年12月に中間取りまとめとして「DXレポート2」を公表しました。また、そこで提示したデジタル社会を構成する要素を明らかにするとともに、ベンダー企業とユーザー企業の双方が変革を進めるために必要となる要件について政策議論を進めています。

市場全体のデジタル化が加速する中、DX推進をめぐる最新の動向と政策展開の方向性についてお話しいたします。

## 【講師プロフィール】

静岡大学情報学部 助手、産業技術総合研究所(産総研)サイバーアシスト研究センター研究員、産総研情報技術研究部門・上級主任研究員などを経て2017年8月より現職。博士(工学)(慶應義塾大学)。その他、これまで、東京大学大学院・非常勤講師、北陸先端科学技術大学院大学・非常勤講師、大阪府立大学・文書解析・知識科学研究所・研究員、先端IT活用推進コンソーシアム(AITC)顧問などを兼務。

「2025年の崖」が注目を集めた経済産業省のDXレポート作成を牽引。

## &lt;休憩 10分間&gt;

## Hitachiアカデミックシステム研究会とは・・・

日立の情報システム・ソリューションを学術研究・教育の分野で活用している者が中心となり、管理運営するボランティア研究会で、会員相互の研鑽と技術・情報の交流促進に寄与することを目的としています。

本会は学術研究・教育の分野の機関に属される方であれば、どなたでも参加可能な研究会ですので、ぜひお気軽にお申込みの上、ご参加ください。

<http://www.has.or.jp/>

## ■ 講演2 14:40~15:30

## 「政策提言 AI で予測するポストコロナの未来」

京都大学 こころの未来研究センター 教授

広井 良典



AIを活用した未来社会の構想や政策提言は可能だろうか？ そうしたテーマに関する共同研究を、私は日立京大ラボや日立コンサルティングと行い公表してきたが、ここではその概要を紹介するとともに、そこから展望されるポストコロナの社会や、人口減少をめぐる課題を含め2050年に向けて日本社会が持続可能であるためのビジョンなどについて幅広い視点から考えてみたい。

## 【講師プロフィール】

1961年岡山市生まれ。東京大学教養学部卒業、同大学院修士課程修了後、厚生省勤務、千葉大学法政経学部教授をへて2016年より現職。この間、2001-02年MIT(マサチューセッツ工科大学)客員研究員。専攻は公共政策及び科学哲学。

『日本の社会保障』(岩波新書、1999年)でエコノミスト賞、『コミュニティを問いなおす』(ちくま新書、2009年)で大仏次郎論壇賞受賞。他の著書に『定常型社会』(岩波新書、2001年)、『ポスト資本主義 科学・人間・社会の未来』(同、2015年)、『人口減少社会のデザイン』(東洋経済新報社、2019年)など多数。

この間、教育再生懇談会委員、内閣府・幸福度に関する研究会委員、国土交通省・国土審議会専門委員、環境省・次期生物多様性国家戦略研究会委員、内閣府・選択する未来2.0懇談会委員等多くの公職を務める。

## &lt;休憩 10分間&gt;

## ■ 講演3 15:40~16:30

## 「ゼロトラストの最新動向および研究開発・運用の取り組み」

株式会社日立製作所 研究開発グループ

テクノロジーイノベーション統括本部

社会システムイノベーションセンタ

セキュリティ・トラスト研究部 主任研究員 川口 信隆



サイバー攻撃の激甚化、リモートワーク・クラウド利用の普及に伴い、「すべてを信頼しない」ことを前提にセキュリティ対策を行う思想であるゼロトラスト(Zero Trust)が急速に普及している。一方で、ゼロトラストを充足する要件やベストプラクティスは必ずしも定まっておらず、現在も様々な提案や議論がなされている。

本講演では、アメリカ国立標準技術研究所(NIST)が2020年8月に正式公開したガイドライン「NIST SP800-207:ゼロトラスト・アーキテクチャ」を基軸に、ゼロトラストのあるべき姿や課題について議論する。また、ゼロトラストに関連する日立の研究開発・運用等の取り組みについて紹介する。

## 【講師プロフィール】

2008年慶應義塾大学大学院理工学研究科修了、博士(工学)。同年(株)日立製作所入社。サイバーセキュリティ、情報セキュリティ、セキュリティ設計の研究開発に従事。情報処理学会コンピュータセキュリティ研究会専門委員、慶應義塾大学SFC研究所上席所員。CISSP。

## ■ 総会 16:30~16:40

Hitachiアカデミックシステム研究会 会長 外岡 秀行 (茨城大学 教授)

## ■ 閉会挨拶 16:40~16:50

Hitachiアカデミックシステム研究会 副会長 井元 清哉 (東京大学 教授)